（様式１）

学校番号	中等2	学校名	茨城県立並木中等教育学校

令和8年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・本県教育目標
・学校教育指導方針

校訓

自制・自律・自尊

学校の教育目標

・様々な体験を通して広く人間教育を行う学校
・筑波研究学園都市の一角に位置するという地域性を生かし、大学や研究機関と連携して科学教育を行う学校
・外国からの研究者・留学生との交流や海外語学研修などを通して、国際理解教育、コミュニケーション能力育成教育を行う学校

生徒の実態

・全校生のほとんどが進学希望であり、前向きな姿勢で全ての活動に励んでいる。

・概ね基本的な生活習慣は確立されており落ち着いた態度である。

・学校行事に積極的に取り組み、創意工夫して活動することができる。

保護者の願い

大学進学を希望する生徒・保護者が多い。進路実現に向け、社会的責任について考え、その責任を担う精神的な強さを求める声が多い。

道徳教育重点目標

・基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心掛け、心身の調和のある生活の実現を目指させる。
・他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりの心をもって人と接することができるようにさせる。
・生命の尊さを深く理解し、かけがえのない自他の生命を尊重できるようにさせる。
・集団の意義についての理解を深め、役割と責任をもち、他者との協力関係の向上に努めさせる。

地域の実態

筑波研究学園都市の玄関口にある進学校として地域の期待は大きい。

各教科・科目

国語	互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う力を高める。
地歴・公	自由・権利と責任・義務との関係を正しく認識し、公正に判断しようとする公民的資質の基礎を養う。
数学	事象を数理的に考察し、筋道を立てて考え、表現する能力を高める。
理科	生物相互の関係や自然界の釣り合いについて考え、自然と人間の関わりを認識する。
保体	運動をすることを通して、粘り強くやり遂げ、ルールを守り、集団に協力する態度を養う。
芸術	創造する喜びを味わうことで、美しいものや崇高なものを尊重する態度を育てる。
外国語	我が国や外国の言語や文化に対する理解を深め、国際的視野を広げる。
家庭	生活に必要な知識、技術を習得することで、望ましい生活習慣を身に付け、勤労の尊さや意義を理解する。
情報	情報社会においてふさわしい判断力や、ルール・マナーを守る態度を育成する。
総合的な探究の時間	変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行う。よりよく課題を解決しながら、自己の生き方を考える時間とする。
専門	特別活動や公共と連携して行う。

特別活動

ホームルーム活動

①どのようなクラスや年次集団でありたいかという目標を立て、実現に向けて個人、クラス、年次それぞれの次元での各自の役割について考え行動する。
②生徒会や学校と連携しながら、丁寧な話し合い活動を重ねてルールの作り方や合意を形成する活動を学ぶ。それらの経験を積み重ねる。
③学校行事や学年行事を自らの手で主体的に作り上げる能力を育成する。

・教育活動全体で行う道徳教育を補充・深化・統合する。
・道徳的価値及び人間としての生き方について自覚を深める。
・生徒一人一人の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高め、道徳的実践意欲と態度の向上を目ざす。
・体験的な活動と密接に関連させ指導する。
・ティームティーチングや役割演技、写真・動画 の使用、保護者や地域の人材の活用など創意工夫ある指導をする。
・学校行事の際には、実行委員を設置し、生徒による企画・運営を推進させる。
・ウォークラリー、スポーツデー、部活動を通して、心身の鍛練をするとともに、いたわりや助け合いの精神を育む。

公民科

公共

・社会との関わりを意識して課題を追究・解決する活動から、知識や思考力等を基盤に人間としての生き方について選択・判断する力を養う。

・社会の状況を横断的・相互的に捉えて現代の諸課題を歴史的に考察しながら未来を形成する視野を養う。

・持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸課題や地域課題を解決し、社会の形成者として必要な資質・能力を育む。

・各授業時間におけるテーマについて個人で深め、それを他者と共有することでさらに深化させる。
・協働による目標実現を目指し、自らの考えをアウトプットする活動を重視する。

生徒指導

・周囲と積極的に関わり、自ら挨拶する態度を育成する。

・規則的な生活習慣を身につけさせる。

・他人との協調性を養い、協働の中での自己実現を目指す。

・安全教育の推進を図り、自己防衛の意識・自己管理の育成を目指す。

家庭との連携

・学校、学年、学級だよりなどにより、学校での様子を知らせ、連携を密にする。

・生徒の様子や進学に関する情報をHP等を活用して知らせる。

・生徒の自律を目指して互いの役割を確認し、分担する。

地域社会との連携

・挨拶を励行し、普段からの関係作りに努める。

・保護者関係諸機関との連携を密にし、問題行動の未然防止を目指す。

・学校、学年、学級だよりなどにより、学校での様子を知らせていく。